

Foundations Reading Library案内

——高校が舞台のグレイディッド・リーダー——

横山 孝一*

(2019年1月7日受理)

はじめに

2018年3月、新宿にある Books Kinokuniya, Tokyo のグレイディッド・リーダーのコーナーで Foundations Reading Library (Heinle, Cengage Learning 2008) が表紙が見えるようにずらりと陳列されているのを見た。八重洲ブックセンターでは普通のペーパーバックの厚さにした合本も見かけたが、薄い小冊子で1冊ずつ売られていた。

このような初級レベルの本は、Macmillan や Pearson の入門レベルにもあるが、本誌で以前取り上げた Oxford Reading Tree や Info Trail のように圧倒的に子供向けが多い。その意味で、アメリカの高校を舞台にした、同年代の英語学習者を対象とするグレイディッド・リーダーは画期的といえる。基礎から本場の英語を勉強したいが童話は読みたくないと思っている高校生にとって、理想的なシリーズかもしれない。

読み方としては、独立した本からなる通常のグレイディッド・リーダーと違って、LEVEL 1 の第1話から順番に読んでいくとよい。厳密に言うときつ物ではないのだが、主要登場人物が再登場し、その成長を読み取ることができるからだ。会話も多いので、音声CDを使えば、英会話の勉強にもなる。

本稿の最後には参考として、従来の発想でつくられた同じ英語レベルから始まる子供向けの小さなシリーズ Delta Adventures in English も紹介した。おそらく、中高生の男子は、幼稚な感じがして敬遠するにちがいない。たしかに主人公は年下だが、英語がわかると、意外におもしろいと感じるものだ。Foundations Reading Library が 42 冊もあるのに対して、こちらはたった6冊。とりあえず1シリーズを読破したい英語学習者にはお奨めだ。すぐ読めてしまうだろうが、勉強には何度でも使える。こちらもCD付なので、情景を思い浮かべながら繰り返し聴いたり、朗読を何度もまねたりして、最終的には、全文まるごと暗唱できるのではないかな。工夫次第で、総合的に英語を学習できるだろう。

*人文科学系・英米文学

Foundations Reading Library

Foundations Reading Library (Rob Waring と Maurice Jamall の共著)は、アメリカの架空の Bayview 市を主な舞台として、Bayview High School の生徒たちの生活を描いた7段階 42冊からなるグレイディッド・リーダーである。高校生たちは、黒人の Hayes 夫妻が経営するカフェ The Lagoon をたまり場として、動物園と遊園地のある Bayview 公園でスケートボードやラジコンで遊んだり、すぐ下の海水浴場で泳いだりする。美しい海には、古い難破船が沈んでいて、イルカも泳いでいる。周りには無人島まであって、有名な歌手がミュージックビデオを撮りに来たりする。繁華街には、ミュージックショップのほかスケートボードやギターの専門店も並んでいる。学校生活も魅力的だ。選択授業では、カンフーや絵画を学ぶことができ、有名人の講演会もある。運動会では、車椅子と健常者の競走まであって、バレンタインデーのダンスパーティーでは、新たなカップルが誕生する。

フルカラーのアニメ風挿絵が頁の半分以上を占める。絵本という幼稚な印象を与えるので、グラフィック・ノベルと考えるとよい。キャラクター・デザインがしっかりしているので、付属のCDを聴きながら読んでいくと、アニメを見ているような感じがする。特に主役は決まっていないが、個性的な登場人物たちが再登場する。シリーズの最初を飾る LEVEL 1 の第1話 “Sarah’s Surprise”で、カフェ The Lagoon でアルバイトを始める Sarah は、学校で男子が付き合いたいと思うような女の子だ。LEVEL 7 の “Love Online”では、学校一のプレイボーイ Scott に誘われるが、一緒にアルバイトをする韓国系の Ji-Sung を選ぶ。彼は、LEVEL 1 の “Bad Dog? Good Dog!”では、姉の Yoon-Hee に買い物任せっきりでゲーム機に夢中になり、LEVEL 4 の “Do I Tell?”では、Scott と Mike の悪事を黙認して一緒に補導された人物である。あまり魅力的には見えないが、LEVEL 3 の “Quiz Night”では知性と一途な正義感を示しており、

Sarah は寡黙なひたむきさに惹かれたのかもしれない。

しかし、Rob Waring と Maurice Jamall がすべての物語を書きながら、性格付けが今一つ定まっていなかった場合もある。ネイティブ・スピーカー以外の英語学習者を対象としたシリーズなので、日本人の生徒も二人登場する。Yoon-Hee と Eric の三人でバンドをやっている Kenji は、LEVEL 7 “Do It”で、理科のプレゼンテーションを勉強嫌いの Ryan と組まされ、自分は苦手なのに、Ryan が大好きなバスケットボールを研究テーマに選ぶ。和の精神を重んじる日本人の典型を感じさせる性格づけだ。同様に、夕方 Eric に誘われ、母親に内緒で海辺に密会に行った Yoko（それ以前は一緒に公園でスケボーをしていた）の行動も、ひょっとしたら日本のと見なされているのかもしれない。それはいいとして、この LEVEL 3 “A Good Friend”で、砂浜で足をけがした Yoko を病院に必死で運んで好青年ぶりを発揮する Eric が、LEVEL 6 の “The Lost Wallet”では、Harris 先生の落とした財布の金を勝手に使ってしまう卑劣な若者になり下がっている。顔は同じに描かれていても、同一人物とはとても思えないだろう。

性格が一貫しているのは、悪役の白人たちだ。Scott は学校一のイケメンで女性にもてるが、性格が悪すぎる。動物園を訪れたときは注意を聞かず、動物にちょっかいを出す。カンフーの授業では弱い者いじめをする。LEVEL 5 “Who’s Best?”では、ニューヨークからの転校生 Kate とデートの約束をするが、彼女は Adib を選ぶ。この肌の浅黒い生徒は、LEVEL 3 “Kung Fu Kid”において、すでにカンフーの試合で Scott を負かしており、伏線もしっかりしている。Scott の女版ともいえる Gemma は、さらに強烈な悪印象を与える。LEVEL 2 の “Singer Wanted”では、美人で歌もうまいが、バンドのオーディションに受かると、バンド名を “Gemma and Hot Rock”に変えようとしたり、LEVEL 3 の “Quiz Night”では、クイズの答えを金で買って優勝を狙ったりと、性格はずうずうしくずい。LEVEL 7 の “Let’s Party”では、文字どおり、招かれざる客として悪役ぶりを存分に発揮している。しかし、最後の登場となる “My Mom, the Movie Star”では、先生と母親を騙すものの、最後の頁で挿絵に描かれる、元女優の母と肩を組んで帰る姿はさわやかで、救いがある。ちなみに彼女の弟は、悪がきの Ryan だ。壊れたボートを海岸に不法投棄したり、自転車レースで反則して優勝したりする陰には、父 Don Walsh の存在があった。本物の悪党で、LEVEL 6 最後の “The Old Promise”では、100 年前の書類を偽造して、イルカが来る Mr. Jenkins の海辺の家を横取りしようとして警察に逮捕されてしまう。以上の悪役たち（その他、バッグのひったくりなどの犯罪者たち）全員が白人であるのは、

白人のアメリカ人にとってはおもしろくないだろう。しかし、第 1 話の “Sarah’s Surprise”で、黒人は犯罪者という先入観を最初に戒めており、異なる人種はもちろん、車椅子の障害者も共生する、理想の学園が描かれているのだ。（Jimmy が校長に直訴して、運動会で競技用の車椅子に乗って、サッカーが得意な Anthony に挑む LEVEL 4 の “Go Jimmy Go!”は、本シリーズ屈指の感動作になっている。）白人にとっては逆差別的なところもあるかもしれないが、英語を国際語として学ぶ世界中の学習者を意識した配慮といえよう。

それぞれの物語は主人公も異なりとりとめもないが、Mr. Walsh と Ryan が捨てたボートを黒人の Tyler が見つけ、遊び仲間の John, David, Faye, Daniela と改修する LEVEL 2 “Old Boat, New Boat”以後、現実離れした〈冒険もの〉が本シリーズを活性化する。つづく “The Cave”で冒険を予感させ、LEVEL 4 で “Lost at Sea” “The Shipwreck” “Mystery on the Island”が 3 部作としてつづき、ハリウッドのアクション映画ばりの LEVEL 6 “Trouble at Sea”で最高潮に達する。なかでも David は、名案を出して実行する人物として確立し、Bear Mountain Camp を舞台にした LEVEL 3 後半でも、食料をまいてクマを追い払ったり、旗を見つかる競争に勝つなど、頭脳明晰ぶりを発揮。LEVEL 7 の最終話 “The Golden Monkey”では、美術館に長年隠されていた中国の秘宝を発見するきっかけを作る。

以上は、冒険ファンタジーとしてはおもしろいが非現実的で、好みの分かれるところだろう。筆者としては、Jenny を主人公とする物語が楽しめた。LEVEL 1 第 2 話 “Goodbye, Hello!”で、Alex が一目惚れして付き合うことになる女の子だ。LEVEL 6 の “Does He Love Me?”は、Alex と Yoon-Hee が自分の誕生日を祝うサプライズ・パーティーを企画しているとは露知らず、嫉妬して Yoon-Hee の日記を盗み見て自己嫌悪に陥る。LEVEL 7 の “Let’s Party”は、意に反して自宅で騒がしいパーティーをするはめになった彼女が、両親の突然の帰宅を前に怒りを爆発させる話で、ロマンチックな愛も吹き飛ばすような Jenny の怒りの表情を描いた挿絵は一見の価値がある。“Goodbye, Hello!”で Alex の妹として早々と登場した Daniela は、シリーズ中、Jenny よりも多く描かれている。Gemma に代わって Hot Rock のボーカルとなり、改修したボートで冒険に出かけるメンバーの一人だ。友人は多いが、オーディションで見せた自信のなさや頑張り、キャンプ地での失敗と名誉挽回の活躍を描いた LEVEL 5 の “Think Daniela!”でも反復されており、性格付けに着目して読むと、おもしろさは格別だ。このシリーズは、特に主人公はいないので、好きなキャラクターを見つけて読むと、より楽しめるにちがいない。

使われている英語は、LEVEL 5 まで現在形で書かれている。ネイティブ・スピーカーからすると、英語学習者にとって過去形は難しいという考えがあるらしく、グレイディッド・リーダーの早い段階ではよく見られる配慮だ。LEVEL 1 の “Rain, Rain, Rain!”を見ると、

“Oh, no! It’s Monday today. And I have school,” thinks Faye.

She is looking at the rain. “I don’t like the rain. And it’s raining today.”

She thinks, “I don’t want to go to school.”

(3 以下、頁数のみを記す。下線は引用者。)

と始まっている。「きょうは月曜日。学校がある」に対応する英語は簡単そうでも、日本人には、なかなか言えない表現なので、とても勉強になる。「フェイは服を着る (Faye gets dressed.)」「自転車に乗る (Faye gets on her bike.)」「毎日、電車に乗って学校に行く。駅までは自転車だ (Every day, Faye takes the train to school. She rides to the train station on her bike.)」「おはようママ (“Morning, Mom”)」「行ってきます (“See you!”)」「きょうは学校は休みだった (“There’s no school today.”)」。日常生活の英語表現を覚えるには最適のテキストだろう。

現在形は臨場感を出す効果もある。現在形の総仕上げとなる LEVEL 5 第 6 話の “The Bear’s Mouth”では、

The loud sound comes from the cave again. “Listen, that’s a bear!” says Gemma. David is listening carefully.

Nobody wants to go in the cave. “You like animals, David,” says Kerry. “Why don’t you go?” “Wait. I’m thinking. Wait,” says David. “Be quiet.”

He thinks and listens again to the bear’s sound.

“Okay. I’m going,” he says.

“David, no!” shout Faye and Jenny. “Don’t! You’ll be hurt! Come back.”

It is too late! David walks slowly into the cave.

They are all very surprised. (21-22)

といった具合だ。今起こっていることなので、先がどうなるのか、登場人物たちと共にハラハラする。そして、じっくり読むと、オチの伏線に気づくかもしれない。

これが、LEVEL 6 の第 1 話から、過去形の語りになる。Eric と John が、テストばかりして大嫌いな先生、Mr. Harris の財布を拾う場面を見てみよう。

Eric and John went to look at it. “What is it?” asked John.

“It’s Mr. Harris’s bag,” replied Eric. He picked it up. “Let’s look inside it.”

“No,” said John. “We shouldn’t.”

Eric did not listen to his friend. He opened the bag and looked inside. “Hey, there’s a wallet. Maybe there’s some money in it,” he said.

“No,” said John again. “Don’t open it. It’s not ours.” But Eric opened the wallet. (9)

一般の小説と同じ過去形で、浮ついた Eric と道徳心を守ろうとする John の緊迫したやりとりが語られている。同じレベルの “A Helping Hand”では、

Tyler replied, shouting, “Hurry up, Daniela! We don’t have time.” (8)

Suddenly, Tyler and David came racing back down the hill. (10)

They could hear the dogs barking behind them.

(11)

There were some dolphins playing at the beach.

(32)

といった分詞を使った構文も散見できる。

最終レベルはどんな英文か？ LEVEL 7 の “My Mom, the Movie Star”から、端役しかももらえなかったママを同名の大女優だと学校を騙した Gemma が、イベントに呼ばれて喜ぶママを見てやましい気持ちになる箇所を引く。

Later, Gemma was watching her mother. Her mother was looking at pictures of her acting days many years before.

“Those were good times,” said her mother. “It’s so good that people remember me. It makes me feel good. I really want to be an actress again.”

Gemma’s face went red. She knew Mr. Harris thought her mother was Anita Hamilton. “I must tell her,” she thought.

“Anita Hamilton can’t come so I must tell Mom that it was a joke.”

Then she thought, “But Mom’s so happy, I can’t tell her now. Maybe it’ll be okay on Sports Day.” (17)

この頁の上部にはカラーのイラストがついている。キッチンで古い白黒写真のアルバムを見る母親に対し、立ったまま話す Gemma は浮かない顔をしており、文章の内容をよく伝えている。読む分量も LEVEL 1 と比べると増えているが、自然な増え方なのがいい。英語が苦手な学習者も、挫折せずに読み通せそう。紹介した文章はもちろん教員には簡単に見えるだろうが、その簡単な英文でこれだけの葛藤を描き出すことができるのだ。文科省検定済の英語教科書では味わえない読書の醍醐味を学生たちにこの Foundations Reading Library でぜひとも味わっていただきたいものだ。

以下は、Foundations Reading Library の全 7 レベル合計 42 冊の概要である。

LEVEL 1

① Sarah's Surprise

Sarah がカフェ The Lagoon でアルバイトをすることに。Mrs. Hayes から説明を受け、彼女の留守中、同じ学校の男子 Ji-Sung と働く。スキンヘッドの黒人の大男が勝手にサンドイッチとリンゴを持って行ってしまい、警察を呼ぶ騒ぎとなるが、Mrs. Hayes が戻り、共同経営者の夫と判明する。(シリーズ初回らしく、“How do you do, Mrs. Hayes?” “Hi Sarah, it's nice to meet you. I'm Ji-Sung.”といったあいさつ表現を学ぶ。)

② Goodbye, Hello!

母の誕生日プレゼントを妹の Daniela と買いに来た青年 Alex は、自分の誕生日に欲しいスノーボードを見ているときに、幼い Jessica が押すショッピングカートにぶつかり、腹を立てる。しかし、美人の姉が謝り、一目惚れ。名前を訊けずに別れ、学校で消沈していると、先生が転校生を紹介。“I'm Jenny. Hello !”と、当の彼女が隣りの席に来る。

③ Rain, Rain, Rain!

月曜日の朝、Faye は雨で憂鬱になるが、9時からの授業に間に合うよう、何か言おうとするママを振り切って出かける。散歩中の犬とぶつかって自転車を壊し、電車は線路に木が倒れ不通。バスを待って車に水をはねかけられる。ずぶぬれで 8:59 に到着するが、校門には、「本日休校」の張り紙。

④ Bad Dog? Good Dog!

母親の Mrs. Lee に買い物頼まれた姉弟。Yoon-Hee は途中、子犬を生んだ母犬の世話に忙しい Farina から父犬の Dingo の散歩を引き受ける。ゲーム機に夢中の

Ji-Sung は、買い物にも犬にも無関心。Dingo は買った肉をくわえて逃げだし、“You bad dog!”と Ji-Sung は罵って姉と追いかける。Farina 宅へ戻った Dingo は、子犬たちに肉を与えている。Yoon-Hee は、“you are a very good father!”と褒める。

⑤ Get the Ball!

サッカーの試合。Jenny はボーイフレンドの Alex の The Blues を、友達の Kerry は Anthony の The Reds を応援している。この二人の選手はライバルで、激しくボールを奪い合い、険悪なムードになる。Anthony が蹴ったボールを建設現場に取りに行った Alex は、Anthony が突進してくるのを見てうろたえるが、落下物から守ってくれたと知り、友情が生まれる。(“The Reds are playing the Blues.” “Alex scores a goal for the Blues! The score is 1-0 to the Blues.” “Now the score is the Reds 1, the Blues 1.”といったサッカーの試合を語る表現や、“Come on, Anthony!” “Come on, the Blues!”のような応援の表現が学べる。)

⑥ The Tickets

車椅子の Jimmy が、Jenny の誕生日に The Bandits のコンサートへ Alex と行くようにチケットを 2 枚プレゼント。ファンの Kerry は「私も行きたい」と羨む。授業へ行く Jenny がチケットを落とすと、Kerry はそれを拾って自分の財布の中へ。昼休みに渡してあげるつもりだったが、昼食を買う時にこのチケットを見てしまった Jimmy は、彼女が盗んだと思い込む。“That's really bad of you.”と責めたところへ Jenny がやって来る。目の前で Kerry が “Here are your tickets.”とあっさりチケットを渡して “That's very nice of you.”と感謝されるのを見た Jimmy は、怒った理由を訊かれて赤面する。(“Happy birthday, Jenny! These are for you.”と、プレゼントを渡すときの表現が学べる。)

LEVEL 2

① Sk8 for Jake

公園のベンチを使ってスケートボードを楽しむ三人 (John, Eric, and Yoko) は、黒人の管理人 Mr. Walker に “No skating here. Go away.”と追い払われる。スケボーの第一人者 (the number one skateboarder in the world) Jake Montoya の公演が Bayview 公園で行なわれる日。観客が集まっているのに、Montoya の到着が 1 時間も遅れる。Mr. Walker のアイデアで三人が前座を務め、公演は無事終了。お礼に Mr. Walker は、公園内にスケートボード場をつくってくれた。

② The New Guitar

Eric, Kenji, Yoon-Hee のバンドの練習を見る黒人の Ray は、ギターを持っていない。誕生日に買ってもらいたかったが、父親はギターの本しか買ってくれない。Ray は、自分の貯金で Eric がよくないと言ったギターを買って仲間に加わるが、演奏中に落として壊してしまう。家で修理しようとする、猫が接着剤をひっくり返して床に足跡がつき、両親から叱られる。

③ Trouble at the Zoo

Bayview 動物園を訪れた Bayview 高校の生徒たち。管理人の Mr. Jenkins が注意事項を守るよう促したが、Mike は調子によってライオンやクマを挑発。注意されて謝るが、悪いとは思っていない。Jenny がカンガルーの子と一緒に写真を撮りたいと言ったのを聞いて、Mr. Jenkins がいなくなると、柵に入ってカンガルーの子を抱き上げる。Jenny は柵を越えて止めようとする。そこに怒った母親のカンガルーがやって来る。Mike はさっさと逃げて、カンガルーの子を任された Jenny は、Mr. Jenkins の指示でなんとか柵の外へ逃れる。Mike は二人に謝罪する。

④ Singer Wanted

バンド Hot Rock がボーカルを募集。Daniela が興味を示しオーディションを受けるが、Gemma にはかなわず、落選。すっかり自信をなくしてしまう。一方、自信過剰の Gemma は、バンド名を Gemma and Hot Rock に改名すると勝手に決めて衣装までつくってきた。一同の不興を買い、晴れて Daniela が招かれる。

⑤ Old Boat, New Boat

Mr. Walsh と息子の Ryan が壊れた古いボートを浜辺に不法投棄。その後、黒人の Tyler が見つけ、David と Faye と修理して自分たちのボートにすることに決める。市清掃局 (CITY GARBAGE COLLECTION) の男性も “That’s a great idea.” と賛同。アルバイトで費用を稼ぎ、着手。完成品を見た Ryan が取り戻そうとするが、清掃員に不法投棄の罰金を請求され断念する。

⑥ The Cave

John, Daniela, Tyler, David, Faye の五人がボートで洞穴を探検。なかには、1979 年の古新聞が置かれたテーブルやハンモックがあった。人が住んでいたらしい。調べるうちに水位が上がって、出られなくなる。はしごを昇ると、丸いドアがあり、戸棚で見つけた鍵で開いた。外は森の中。ずっと気乗りしなかった Daniela は、“I’m not coming back!” と洞穴探検はもうこりごり。

LEVEL 3

① Slam Dunk for Mark

バスケットボールの試合。Bayview 高校のスター選手 Mark のスラムダンクで逆転勝ち。“Great job, Mark!” と仲間たちから感謝され、先生の Mr. Harris からも “Good job, Mark, and good luck in tomorrow’s game. With you on the team, we’ll win the cup again!” と激励される。しかし、二人きりで暮らしている祖母の具合が悪くなる。「決勝戦には出られない」とだけ言って、Gemma ら友人たちの不興を買うが、病院に祖母を連れて行って心は満たされる。

② Kung Fu Kid

カンフーのクラスに Adib が初めてやって来る。白人の Mike と Scott は、弱いものいじめをして楽しんでいる。中国系の先生が、Adib を Mike と対戦させる。Adib のほうが小柄だが動きがすばやく、Mike を簡単に負かしてしまう。続いて “number one student” の Scott が気乗りせず渋々対戦。勝てないとわかると、脚をけがしたふりをして退場。Adib は “You are a good student, and a good teacher, too.” と褒められる。

③ A Good Friend

Eric が小川家の Yoko に浜辺で夕陽を見ようと誘うが、母親の Mrs. Ogawa が許さない。Yoko は試験勉強をしてから寝ると嘘をつき、たき火のそばでギターを弾く Eric のもとへ。ところが割れた瓶で足をけがし、日が暮れて雨が降る中、Eric が病院に連れて行く。電話をもらって駆けつけた Mrs. Ogawa は Eric を責めるが、Yoko が “I’m the bad one.” と自分の非を認める。

④ Quick Thinking

John と Tyler がラジコンの車や飛行機で遊んでいる。David と Faye は、露店でアルバイトをする Daniela からアイスクリームを買い、浜辺に泳ぎに行く。そこで、女性のバッグを奪って逃げる白人の男を目撃する。とっさの判断で、ケータイを使い、仲間たちと連携。逃走を妨害し、ラジコンをぶつけて犯人を湖に落として、警察を呼ぶ。

⑤ I Always Win!

Bayview の自転車大会。毎年、父親から新しい自転車を買ってもらって優勝している Ryan に、黒人の Tyler が挑む。“I want you to win. Our family always finishes first.” と勝利にこだわる父親の Mr. Walsh の影響で、Ryan は競り合う Tyler を突き飛ばしてゴール。

しかし、父にすべてを告白。脚を骨折して入院した Tyler に優勝カップを手渡す。

⑥ Quiz Night

クイズ大会に出場した Ji-Sung は、the Petronas Towers は Malaysia の Kuala Lumpur にある、*Yesterday* を歌ったのは The Beatles、と当てる。問題と答えを金で買った Gemma と優勝を争うことになり、買収された出題者の John が Ji-Sung を勝たせようと問題を先に教えてしまう。Ji-Sung は不正を嫌い、わざと “I don’t know!” と言って負け、John はひとり反省することになる。

LEVEL 4

① I Spy

ワシントンDC。Edgar は極秘文書を女スパイに売り渡す仕事に就くが、電話で聞いたのと偶然同じ服装をした Yoon-Hee を見て、違うバスに乗ってしまう。赤いカバンをすり替えて、金を手に入れた気になって下車した Edgar は、間違いを知り、他人の自転車を奪ってバスを必死に追いかける。自転車の持ち主、自転車に犬をはねられそうになった男、驚いてアイスクリームを落とした女が怒ってその後を追いか、まぬけな男は逮捕される。

② Go Jimmy Go!

運動会 (Sports Day) の 800 メートル走に出る Anthony は、車椅子の Jimmy が “I’m in that race, too.” と言ったとき、本気にしなかった。実際、他の走者の邪魔になると黒人教師の Mr. Williams が反対したが、Jimmy は金髪の校長 (principal) Mr. Roberts に直訴し、二人分のレーンを使ってレース用の車椅子で出場。結局 Anthony には勝てず、2 位 (second place) になるが、“Next year I will win!” とあきらめない。

③ Do I Tell?

Ji-Sung は、バス停で Scott と Mike の二人組に出会う。金髪の Scott は持ってきたペンキスプレーでポスターに落書きし、現場を見ていない黒人警官にやっていると嘘をつく。子供料金で乗れなかった二人は、バスの後ろの席を占領して、老人にも座らせない。今度は、Mike がシートに落書きする。公園では、ごみ箱を蹴り倒して、ガラス瓶を投げて割る。二人は、湖の鳥めがけて石を投げているところを白人の警官に補導されるが、内心ずっと批判的だった Ji-Sung もこの婦警から「一緒にいて止めなかったわね」と責任を問われ、警察に連れて行かれる。

④ Lost at Sea

Faye, Daniela, David, Tyler, John の五人が、自分たちのボートでダイビングに出かける。ところが嵐になり、海に落ちて一同ずぶ濡れに。Faye の新しいケータイも、ボートのエンジンも役に立たなくなる。なんとか小島にたどり着くと、避難所をつくって火を焚き、夜をあかす。翌日、砂浜に石で SOS の文字を並べ、Faye の母と David の父が乗る警察のヘリコプターに助けられる。

⑤ The Shipwreck

John, Daniela, Faye, David, Tyler の五人が再び自分たちのボートで出かける。John と David はダイビングを楽しむ。Faye がサメを見つけ、John に戻るよう知らせる。先に戻っていた David は逆にサメのほうへ泳ぐ。サメではなく、イルカだったのだ。二人はイルカにつかまって海底に潜り、古い難破船と宝箱を発見。箱の中には大きなタコがいて、David の脚にからみつく。突進して救ってくれたのは、もちろんイルカだ。

⑥ Mystery on the Island

土曜日の午前中、Bayview の繁華街にCDを買いに行った Daniela, David, John の三人は、乱暴な運転をするリムジンに注目。屈強な男が女を船で連れ去るのを目撃して通報するが、警官に相手にされず、自分たちで調べようと Shark Island へ。古い屋敷をサングラスの男たちが猟犬を連れて見張っている。女性が監禁されていると思いきや、ポップシンガーの Patti Sanders が極秘でミュージック・ビデオを撮影しているのだった。彼女の歌が大好きな Daneila は、夢の共演を果たす。

LEVEL 5

① Who’s Best?

ニューヨークから来た転校生 Kate は、The Lagoon で財布が見当たらず、ドリンク代を出してくれた Scott と映画に行く約束をする。しかし、車椅子の Jimmy にぶつかって罵倒する彼の醜い姿を見てしまう。“All the girls want to go out with Scott!” “All the girls are in love with him.” と Gemma と Yoon-Hee が褒めそやすが、印象が悪くなる。その後、Mrs. Chen の美術の授業でシカゴ出身の Adib と絵画の話で意気投合。映画の約束を忘れて、“He’s nice and very easy to talk to.” と思う。Adib がくれた似顔絵を Scott がけなして破るのを見た Kate は、コンサートへ行く約束をしたものの、結局、見た目よりも、性格の良い Adib を選び、誘ってくれた画廊へ出かける。そこには、彼女を描いた絵が一等賞をとって飾られていた。

② The Big Test

他の生徒たちと違って、図書館で明日の試験勉強をする気のない Ryan は、廊下で「脚が痛い」と騒ぎ、Mr. Harris に保健室へ連れて行ってもらう。その間に相棒の Steve が先生の PC に送信機を取りつける。歴史の問題と答えをまんまと盗み出した二人は、Mike たちに販売。翌日、勉強せず余裕でテストに臨んだ生徒たちは、問題が違うのでうろたえる。Mr. Harris は Ryan と Steve を教員室に呼んで、本棚の防犯カメラがとらえていた映像を見せる。They are in big trouble now!

③ Where's Lorena?

4歳の妹 Lorena と人形遊びなんかできない。しかし、Alex は、母親の Mrs. Oliveira から子守りを厳命され、しかたなく遊園地(the fairground)へ。友人と夜 The Lagoon で会う約束をしている間に妹は行方不明になる。海の方へ行ったと聞き、不安になって捜しまわることが見つからず、帰宅。Lorena は母親に電話して婦警の助けで無事に家へ戻っていた。母親に叱られるが、うれしかった。夜に出かけるのはやめて、自分から“Let's play with your dolls.”と、幼い妹の相手をする。

④ Boys vs. Girls

Bayview 高校の生徒たちが週末を Bear Mountain Camp で過ごす。Mr. Woods の指導で牛の乳搾り(milk a cow)からキャンプ生活を始めるが、Gemma がふざけて弟の Ryan と Eric に牛乳をかけ、男女の争いになる。男子は飼われていたネズミを Girls' Cabin に放して怖がらせ、女子は Boys' Cabin に放水する。Mike は仕返しに、売店で買ったハチミツを玄関前に流してハチを呼ぼうとするが、森からクマが3頭出現する事態に。David は食べ物を集めて、それをまいてクマたちを森に帰す。“Boys, that was very bad of you.”と引率した黒人女性教師 Mrs. Brown は叱る一方、“Well, it's good nobody was hurt.”と生徒たちの無事を喜び、“And good job, David. You did very well!”と David の気転を褒める。

⑤ Think Daniela!

長い散歩から戻り、Daniela は、ぬれたスニーカーを乾かそうと火のそばに置いて自分のばかりか Gemma の靴まで燃やしてしまい、ひんしゆくを買う。名誉挽回のために重たいジュースを運んで、John にかけてしまい、怒鳴られる。ただ一人怒っていない Faye がクマに襲われそうなを見て大声で“Run away, Faye.”と叫ぶが、剥製だった。びっくりして落としたカメラが壊れ、Faye にまで嫌われる。すっかり自信をなくしたところで、吊り橋から女の子が転落。とっさの判断でロープを川の両

側の木につなぎ、滝に落ちる寸前で救出。“Daniela, that was very smart of you.”と Faye たちの信頼を取り戻し、John と Gemma も、“We're sorry for being angry with you.”と謝罪する。

⑥ The Bear's Mouth

Mr. Woods の説明を聞き、地図をもとに旗を捜し集めてその数を競う“a flag race”を行なう。David, Jenny, Kerry が緑チーム。Ryan, Faye, Gemma が赤チーム。持たされたロープを使って緑チームが木の枝から旗を取る。Gemma は仲間内で地図の取り合いをして崖から落ちながらも、川辺の旗を取る。6対6で終点の洞穴 The Bear's Mouth へ。先に着いた赤チームの Gemma はクマがいると言って断念。しかし、緑チームの David は耳を澄まし、奥へ入り、旗を持って戻る。CDプレイヤーを持った Mr. Woods と共に。流していたのはライオンの咆哮だった。“Good job! The green team wins!”

LEVEL 6

① The Lost Wallet

Mr. Harris から来週またテストを行なうと聞き、抗議する Eric。放課後、スケートボードで競争し、親友の John は石につまずいてスケボーを壊してしまう。店で直せないと言われ、ギターを見た後、二人は、バスに急いで乗る先生が財布を落とすのを目撃。拾った Eric は、“Nobody saw us, so we can keep it. It's ours now.”と返す気なし。一方 John は“I don't want to steal from anybody. It's not fair.”と非難する。「明日返すよ」と言った Eric の家を気になって訪ねてみると、先生のお金で買ったギターを弾いており、John のために新しいスケボーを買っていた。John は正義を貫き、中身が半分になった財布を翌日、先生のカバンに戻そうとして、Mr. Harris に捕まってしまう。母親が呼び出されて叱られる中、Eric が真相を告白。先生は、半年間、二人に自宅の庭の掃除を命じる。

② No, You Can't!

Anthony はバイクに夢中でレースを見に行きたいが、母親が反対する。ガレージの掃除を引き受けて許してもらうが、やはり危ないと禁止され、バイクマニアの祖父に内緒で連れて行ってもらう。祖父の知り合いのレーサーの後ろに乗せてもらったあと、単独でもコースを走り、大喜び。ところがそこへ母が止めに来て、木に激突。脚と腕を骨折するはめに(He had a broken leg, and a broken arm.)。母は16歳のとき、父親がバイクで瀕死の重傷を負い、バイク嫌いになったのだ。“I love you

very much. But my love for you made me worry. And my worry made you have an accident.”と反省した母は、バイクの安全な乗り方を学ぶことを許す。

③ Does He Love Me?

Jenny は、図書館で日記を書く親友の Yoon-Hee が何かを隠していることに気づく。ボーイフレンドの Alex も同様に、嫌われ者の Gemma から二人が映画館に入るのを見たとき、ショックを受ける。Yoon-Hee の日記を盗み見て二人が付き合っていると確信した Jenny は、約束どおりカフェへ行き、Yoon-Hee と談笑する Alex に、飲み物をぶちまける。その直後、誕生日プレゼントを持った友人たちが姿を現わす。二人は、Jenny の誕生日のためにサプライズ・パーティーを準備していたのだ。逃げ出して泣く Jenny に、今夜 Alex と一緒に行く映画の券を見せ、誤解が解けた。三人は会場へ戻る。

④ A Helping Hand

Jenkins Beach へ自転車で出かけた David, Daniela, Tyler。その浜辺に出るには、町の人と交流せず変わり者と恐れられている Mr. Jenkins の私有地を通らねばならない。“DOGS KEEP OUT”の警告どおり、放し飼いの猟犬が向かって来る。慌てて逃げ出すが、David が血痕を残して行方不明になってしまう。Daniela と Tyler は古い屋敷の中で、動かぬ David を発見し、猟犬に吠えられる。Mr. Jenkins が戻ってきて絶体絶命と思いきや、“Away!”と犬に命じた老人は意外にもやさしく、自転車から落ちて気を失っていた David の手当てをしてくれた。ジュースとパンケーキを出して、人々を近づけない秘密も明かしてくれた。浜でイルカの世話をしているのだ。

⑤ Trouble at Sea

Faye, Tyler, John, David, Daniela の五人がいつものボートで Jenkins Cove へ出かける。海上で油まみれの鳥を発見し、Mr. Jenkins に助けを求めに行くと、同様に油で汚れたイルカをきれいにしているところだった。近くに停泊する高そうなレジャーボートからドラム缶の石油を流しているのを目撃。海を汚して Jenkins の家を安く買ってホテルを建てる計画だった。Daniela のケータイが鳴って見つかるが、証拠写真を撮って、イルカに助けられる。悪人たちの乗った船は座礁して、警察が逮捕に来る。船の下に消えた Faye と Tyler は、イルカと共に岸に戻ってくる。

⑥ The Old Promise

Ryan の宿題を手伝う Faye は、彼の父 Don Walsh と玄関でぶつかり、大事な書類が落ちて罵倒される。その後、

Mr. Jenkins 宅で、Mr. Walsh が 100 年前に祖父同士が交わしたという契約書を出し、海辺の家を返すよう迫ったことを知る。女性弁護士の Mrs. Dale と美術館の Mr. Harding は書類は本物だと証言したが、Walsh 宅に忍びこんだ Faye と John は、動かぬ証拠を発見。紙は古いが、文字はホテルを建てるために Walsh が偽造したものだった。Mrs. Dale と Mr. Harding の三人で撮った写真もあった。動揺する Mr. Walsh の言動を John が録音。外で待つ警察が逮捕する。

LEVEL 7

① Let's Party!

Jenny は両親と妹が出かける土曜日の夜、Daniela と Alex を家に呼んで映画を見る予定だったが、Daniela がパーティーをしようと主張。気乗りしなかったが、Faye, John, David, Tyler ばかりか、嫌いな Gemma や Ryan もやって来る。音楽を流し、家具を動かしてダンスを始め、冷蔵庫の食料にまで手を出す。家じゅうが散らかって、妹の Jessica の具合が悪くなって急ぎよ帰宅すると母から電話があると、Jenny はついに怒り狂って掃除を指示し、話していたとおり三人で映画を見ていたふりをする。ところが母は言う。「私も、若い頃は内緒でパーティーをしたものよ」。

② Do It!

体育のバスケットボールの授業で、苦手な Kenji は、得点できず、Ryan からなじられる。勉強が得意な彼は、Ryan に間違った答えを教えて、さらにいがみ合い、Mrs. Ho から、理科のプレゼンを一緒にやるよう命じられる。Ryan はまったくやる気がなく、用意した紙を丸めて、ゴミ箱へシュート。Kenji がひらめき、二人は効果的なシュートを科学的に検証する。発表後、Kenji が体育館でボールをみごとバスケットに入れて、理論を実証。Ryan と喜び合う。

③ My Mom, the Movie Star

Gemma は、アメリカ映画を授業で教える Mr. Harris を April Fool's Day にからかおうと、母は先生が崇拜する Anita Hamilton だと言って騙す。端役の経験がある綴りが違う母 Anitta 旧姓 Hamilton は、大女優と間違えられていることを露知らずに、先生の依頼で講演を引き受けて、リムジンに乗って Bayview 高校へ。テレビ局も来ている会場の壇上に立つ。そこへ Gemma が最初に依頼した大女優が現われる。先生は老けた彼女には見向きもせず、まだ美しい Gemma の母を本物と疑わなかった

が、本人が名乗ったため、Gemma は、真相を打ち明けて謝罪せざるをえなくなる。しかし、歩いて帰るとき、“But I did have a good time.”と母は喜んでいて。

④ The Secret Tunnel

Bayview Hall 美術館を訪れた John, David, Daniela, Faye, Tyler の五人は、銅像の位置が微妙にずれて、ガラスケース中の飾り箱のダイヤモンドがはずれていて、肖像画の絵の具が乾いていないことに気づく。調べると、展示室には秘密の扉があり、トンネルの先に、贋作制作をしている部屋があった。展示品を偽物とそっくり入れ替えて箱に詰めて売りに出そうとしている Mr. Harding の陰謀を知り、警察に通報する。

⑤ Love Online

学校で男子に人気のある Sarah をバレンタイン・デーのダンスに誘いたい Scott は、同じ気持ちの Ji-Sung が用意した Sarah へのバレンタインカードを破り捨てる。Ji-Sung は怒って机の教科書を床に投げ捨てるが、それは Sarah のもので、彼女の不興を買ってしまう。Scott は、“Would you like to go with me to the dance tomorrow?”と彼女を誘う一方、とどめを刺すべく Sarah のふりをして Ji-Sung をその気にさせる偽メールを送り、さらに Ji-Sung の名で中傷メールを Sarah に送る。結局、悪事はばれて、Ji-Sung の真剣な思いを知った Scott は、仕方なく身を引く。楽しく踊る二人を見て、“I’m a fool!”と反省する。

⑥ The Golden Monkey

昔、Bayview Hall 美術館をつくるため世界中から美術品を集めた Henry Sutton は、中国の古い寺から黄金のサルを手に入れ、現地の人々の怒りを買って、返還要求を受けたが、拒否。その後、宝物は行方不明になっている。Faye の祖父 Mr. Wang は、中国からやって来る関係者に明日返還する美術品の梱包作業を孫とその友達に手伝わせている。David がうっかり割ってしまった花瓶に鍵と紙片が入っているのを Tyler が見つける。David が紙をもう一つの花瓶の模様に巻きつけると、“The best is here.”の文字が浮かび、その花瓶の中に隠されている地図を Faye が割って取り出す。それを元に書棚の壁の裏に金庫を発見。鍵だけでは開かず、地図をあぶると、レモン汁で描かれていた動物の絵が浮かび上がる。干支のダイヤルを順に回すと、中に、黄金のサルと本物の花瓶二つが保管されていた。長年、空になっていた専用のケースに収め、Mr. Wang は、中国から訪れた僧たちにやっと返還することができた。

Delta Adventures in English

これほど小さなシリーズも珍しい。レベルは3段階で、各2冊ずつ、合計わずか6冊からなるグレイディッド・リーダーである。CD付なので、繰り返し聴いて、何度も音読して英文を暗記するには最適かもしれない。Foundations Reading Library と比べると、各頁の半分がイラストであるつくりは同じで、ほぼ同じ英語レベルから始まっている。大きな違いは、読者対象が“for children in the 7 to 12 age group”と明記されているように小学生である点だ。高校が舞台の Foundations Reading Library に対して、主人公も少年少女なので、一見、幼稚な感じがするかもしれない。しかし、冒険ファンタジーとしては、最後の *The Time Twins* がタイムマシンで時空を超える旅に出るので、Foundations よりもはるかにスケールが大きい。往年の名画『E. T.』を思い起こさせる *Stranger in the Snow* は、宇宙人との遭遇を描き、特にお奨めできる。

LEVEL 1 の英文は予想どおり現在形で統一されている。*The Chariot Race* のエピローグとなる最後の頁は次のように書かれている。

Himaar is old now,
but he is happy.
He eats the green grass under the trees.
He likes eating and sleeping!
He sees Bak every day.
Bak is a tall young man now.
He likes the Senator.
He likes looking after his horses.
Today there is a new chariot race.
Bak has a new team.
Come on, the Greens! (30)

普通ならつづけて書くところを改行して、右側にわざと空白をつくって、英語に不慣れな読者に圧迫感を与えないよう配慮している。過去形は、Foundations Reading Library よりもずっと早く LEVEL 2 の *Danny’s Blog* から使われるが、最初の頁は現在形で語られる。

Pumai is a beautiful place in Borneo.
It’s quiet and there are lots of trees.
It’s a good home for the orangutans.
Danny Miller lives there too, with his mum.
She works at the Pumai Orangutan Reserve. (2)

と舞台と登場人物を紹介したうえで、4頁目から過去形

を使用している。

One Saturday, a family of tourists came to Pumai. Danny's friend, Paul, showed them the animals. "There aren't many orangutans in the world now," said Paul. "When people cut down the trees, these beautiful animals lose their homes. At Pumai, we try to help them." The tourists were sad when they heard that. (4-5)

Foundations Reading Library で LEVEL 6 からようやく過去形が使われていることを考えると、過去形の使用が早い Delta Adeventures は、LEVEL 3 で Foundations の最終レベルに達するかそれ以上だろうと思ってしまう人もいるかもしれない。しかし、LEVEL 3 はあくまで LEVEL 3 だ。急に英文が難しくなるわけではない。タイムマシンで、双子のきょうだいが、英国の有名な劇作家シェイクスピアに思いがけず遭遇する場面を *The Time Twins* から引いてみよう。

This time, two men were looking at them.
"Who are they?" asked the older man.
"Have they come to see me?"
"I don't think so, Mr Shakespeare,"
said the older man. "And I don't understand.
How did they get here?"
"Wow," said Sophie. "Are you really
the famous writer, William Shakespeare?
How exciting! My name's Sophie,
and this is Tom -"
"Sorry," said Tom. "We can't stay.
We must go home."
He pressed the red button. (25)

本のレイアウトをそのまま写した。ご覧のように右側に空白ができ、読みやすく、英語がぎっしり詰まった感じがなくて、英語が嫌いでもあまりストレスを感じないだろう。英文も短く単純で、やはり Foundations の 7 のほうがレベルが上である。とはいえ、会話が多用されていて CD 付なので、読解だけでなく、日常英会話のリスニングの勉強にもなる。"This series is an ideal start to reading in English for children in the 7 to 12 age group." と本の裏表紙で宣伝しているように、早期に英語を読みはじめる小学生には最適の教材かもしれない。

以下は、Delta Adeventures in English 全 3 レベル計 6 冊の概要である。

LEVEL 1 (Starters)

① Where's Toto? (Elizabeth Laird / 絵 Leighton Noyes)
幼い Susie は、兄の Simon と従姉の Julie とサーカスを見に行くが、空中ブランコの出し物の最中に、逃げ出した愛犬 Toto を追って舞台裏を捜しまわる。やっと見つけるが、大きな黒い犬に追いかけて、またいなくなる。穴の中に隠れているのをようやく見つけて中に入ると、穴自体が動き出す。Martine が出演するはずだった「人間大砲」の中にいるのだ。Susie は、Toto を抱えたまま発射され、大男に受け止められる。観客は "Wow! Great!" と大喜びしたが、サーカスはもうこりこり。ところが、Toto は黒犬の Rex と仲良くなっている。

② The Chariot Race (Lynne Benton / 絵 Tom Sperling)
古代ローマ帝国が舞台。Julius の元でこき使われている Bak 少年は、戦車レースを見に行きたいが、相棒のロバ Himaar と水瓶を取りに行く仕事がある。帰り道、Himaar はレースにまぎれ込み、大奮闘。水瓶を落として割ってしまうが、大観衆を熱狂させ、優勝。Bak は、元老院議員 (the Senator) に気に入られ、Julius の目の前で、馬の世話係の仕事を与えられる。その後、Himaar は引退して幸せな老後を過ごす。Bak は立派に成長して、戦車レースで新チームを率いるようになる。

LEVEL 2 (Movers)

① Danny's Blog (Stephen Rabley / 絵 Martin Ursell)
ボルネオ (Borneo) の the Pumai Orangutan Reserve で、森林を守り、オランウータンを保護している母と暮らす Danny Miller 少年。母親から、5 万ドルの運営資金が必要なこと、the Borneo Wood Company の Sol Coram 社長が保護区の森を買い取りたいとメールを送って来たことを聞く。この危機をどう乗り越えるか悩んでいるとき、学校の授業で「ブログ」を知った。早速、全世界に窮状を訴えると、Sol Coram へ苦情のメールが殺到。Danny はもう一つの作戦を思いつく。買収するつもりで 5 万ドルを持ってきた Sol Coram は、かわいいオランウータンの子 Gloria を抱かされ、知らずに、テレビカメラが待つ室内へ。その場の状況から、5 万ドルを寄付して計画を断念せざるをえなくなる。Danny はブログをつづけ、世界中から寄付金が届くようになった。

② Red Rock (Stephen Rabley / 絵 Bob Moulder)
有名な映画スター John Jones はめったにシドニーの家に帰らない。娘の Lara は、撮影現場のレッドロックに招かれる。赤いスポーツカーに乗った父のアクション

シーンを見物し、一緒にランチを食べる約束をした後、父は誘拐されてまう。二人の不審者がいたことを思い出し、話していた“Hooper’s Farm”へ撮影スタッフの Sam に連れて行ってもらう。そこに父が監禁されているのを見つけ、撮影用の煙を使って救出。映画は大ヒット。賞を受賞した John Jones は、大観衆の前で、“The greatest star”である娘に感謝の言葉を述べる。

LEVEL 3 (Flyers)

① Stranger in the Snow (Lynne Benton /絵 Ollie Cuthbertson)

作家の父が森のそばに家建てた。会いにやって来た兄妹 Paul と Anna は、父が手紙を出しに出かけた留守中に、雪だるま (a snowman) をつくる。偶然見つけた不思議な笛を吹くと、家全体が白い光に包まれて、外にエイリアンが出現。Anna が笛を返すと、この stranger は不思議な曲を吹き、巨大な宇宙船 (a spaceship) が迎えに来る。エイリアンは腕を振って別れを告げ、星空に帰って行った。子供たちは、宇宙船ゲームを買ってきた父に、本の題材を提供する。

② The Time Twins (Stephen Rabley /絵 Elisabeth Eudes-Pascal)

双子の Tom と Sophie は両親と車で祖父の家へ。発明家の Grandpa は、製作中の腕時計型 time-machine を見せてくれた。二人はうっかりスイッチを入れてしまい、3,350 年も時間を遡る。エジプトの王家の谷 (The Valley of the Kings) でツタンカーメン (Tutankhamun) の埋葬に立ち会い、秘密を知ったからと一緒に閉じ込められてしまう。石棺の中に落とした time-machine を取り戻し、適当にボタンを押して、古代ローマの大観衆の

前でライオンに食われそうになったり、劇場で打ち合わせをする William Shakespeare と会ったりして、祖父の家に戻ってくるが、Sophie の脚が消えてなくなっていた！ というところで、Sophie は目を覚ます。まだ車の中で、ちょうど到着したところだった。祖父から、time-machine のアイデアを記したノートを見せられる。

おわりに

挿絵入りの本というのも悪くない。グレイディッド・リーダーは進化をつづけて、マンガ版まで出るようになっていく。(拙論「Helbling Young Readers と e-future Graded Comic Readers—グレイディッド・リーダーの新しい形」と「Vera the Alien Hunter—英語マンガ教材紹介」を参照。) キャラクター設定とデザインがしっかりしていれば、登場人物たちは頭の中でアニメ映画のように動きだす。Raketshop Design Studio が担当した、Foundations Reading Library のフルカラーのイラストは、なかなか魅力的なキャラが多く、読めば必ず印象に残る。各イラストレーターがそれぞれ個性を生かして腕を振るう Delta Adventures in English の趣向も悪くないが、同じキャラクターが再登場する Foundations の 42 冊をきちんと読破した者には、Bayview 高校の生徒たちが、なつかしい友のように感じられるのではないかな。

興味を持ったなら、ぜひとも現物を手にとって、読みはじめていただきたい。挿絵を楽しみながら音読を繰り返すとよい。新鮮な物語世界が堪能できるだろう。英語の本を通じて外国人の登場人物に共感するのも、貴重な体験だ。この種の感動は、大学入試や TOEIC の受験勉強では絶対に味わえないはずである。

A Guide to Foundations Reading Library, a Unique Graded Readers Series Set in High School

Koichi YOKOYAMA

This paper is a guide to Foundations Reading Library, the 1-7 level graded readers series of 42 full-color illustrated books, whose characters are mainly fictional “Bayview High School” students of diverse origins including Japanese and Koreans in the United States. This series is quite unique since many of introductory graded readers generally tend to be children’s books, or fairy tales written for children. Of course, it cannot be denied both Grimm’s and Andersen’s masterpieces are still worth reading for young adults, and even the graded readers for English-speaking children like Oxford Reading Tree and Info Trails are also readable and informative for high school students learning English as a foreign language. In reality, however, ordinary, Japanese high school students, especially male students, avoid those books probably because they look too childish for them to choose. Although there are stories retold or newly written for such students, they do not seem interesting enough to attract their attention. As for Foundations Reading Library, the main characters of the series are ordinary, American high school students, whom the Japanese counterparts can easily sympathize with. American high school life always looks so attractive to them, for example, part-time jobs, skateboards, rock concerts, rock bands, basketball, sports meets, bike races, summer camps, and dances. Furthermore, this series includes some extraordinary adventures such as fights against gangsters and robbers. Far from boring, Foundations Reading Library provides ideal textbooks to those who want to enjoy learning English from the basics by themselves.